

令和7年度【2025年度】

## とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	ミアヘルサ保育園ゆらりん大泉学園
施設所在地	新宿区市谷仲之町3-19
事業者名	ミアヘルサ株式会社

### 1. 活動のテーマ

<テーマ>

音

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など) 日々様々な音が聞こえてくる中で、少し無意識に生活しているが、意識して耳を済ませると楽しい音があるということを知ってもらいたい。また、その音を自分たちで作る楽しさ、演奏する楽しさを知ってもらいたいためこのテーマにした。

### 2. 活動スケジュール

10月：公園で音が出る自然物を探し、鳴らしてみる探索活動。  
音が出るものを園へ持ち帰る。自然物で楽器を制作する。  
11月 廃材で楽器を製作する。  
12月 手作り楽器で演奏会  
1月～2月本物の楽器に触れてみる。演奏してみる。2月の発表会で演奏する。

### 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)  
①木々がある公園へ散歩に行き、落ちている枝で大きな木を叩いて音を出したり、小石で音を出す環境を設定。また、楽器作成のためにどんぐりと小石を拾う。廃材で楽器作りのため、ティッシュペーパーBOXを収集。本物の楽器も体験し楽しむため、グロッケン、スネアドラム、バスターラムを購入。

#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>

公園での音探しについては、子どもたちがそれぞれに、木の太さや草での音の違いについて探索行動ができた。石を探し合わせて音が出ることを発見し、後日カスタネットを作成した。同時にどんぐりもたくさんあると音が出ることを発見し、マラカスの作成を行った。廃材では、ティッシュBOXにゴムを張りギター作りを楽しんだ。また手作り楽器での演奏会。その経験を得て本物の楽器に触れて、音を出す楽しさを知る。

##### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

公園では「猫じゃらしは音がでないね〜」「大きい木だと音が大きくてカンカンいうね」「グーでたたくとコンコン」「パーはペチペチ」と話す子どもの声を拾い、音の違いに気づいたことを褒めながら一緒に楽しんだ。楽器作りでも子どもの自発性を大切に、どうやったら音が出るか一緒に考えながら、制作活動を行った。



#### 5. 振り返り

##### <振り返りによって得た先生の気づき>

公園では自然物での音探しだったが、手で樹木をたたき出し音の違いを自ら発見していた。自由な発想がとても素敵で、このまま自分たちで考え活動できる子どもたちのまま成長してほしいと思いました。